# 学校中間評価分析速報（概要）

伊丹市立西中学校　　平成 25 年 8 月 5 日

７月上旬、学校評価診断票（生徒、保護者、教職員対象）に回答願いました。

中間評価の特徴は１学期の生徒の実態、教育活動の進捗状況を客観的に把握します。教職員の転勤等の影響がない２学期からの学校運営に役立てることができます。更に、１月に実施する学校評価と比較し次年度の方策に生かします。

速報としてお知らせするねらいは、ご家庭と学校の連携（生徒・保護者・教職員の信頼関係）を一層濃密にすることにあります。お子様の頼もしい心身の成長を実現できますようご協力をお願いいたします。

回答は４段階（Ａよくあてはまる　Ｂややあてはまる　Ｃあまりあてはまらない　Ｄまったくあてはまらない）となっておりました。当分析では、Ａ及びＢの回答（数値%）を便宜上良好とします。

生徒対象の設問について：80%以上良好　　学校生活に関連する　23 項目中 11 項目
保護者対象の設問について：80%以上良好　　学校教育活動に関連する 19 項目中 13 項目
教職員対象の設問について：80%以上良好　　学校教育活動に関連する 28 項目中 27 項目

PTA 委員総会

昼　食

## 【生徒、保護者、教職員がともに高率で良好と回答したもの】

| | | 黒字（生徒） | 赤数字（保護者） | 青数字（教員） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 学校行くのが楽しい | 84.7% | 92.6% | |
| 2 | 自信を持って行動し、他の人を思いやる気持ちになれる（自尊感情） | 80.7 | 86.9 | |
| 3 | 林間、トライやる、修学旅行に達成感 | 90.0 | 97.3 | 100 |
| 4 | 社会のきまり、マナーについて（規範意識） | 85.3 | 84.2 | 97.0 |
| 5 | 様々な場面（スピーチ、生徒会活動等）で表現力を高める | 86.5 | 83.8 | 87.9 |
| 6 | 交通ルールを守り安全に登下校 | 90.9 | 89.0 | 90.6 |
| 7 | 健康管理について（保健だより等） | 88.3 | 96.2 | 97.0 |
| 8 | 避難経路の確認、安全な行動 | 80.2 | 96.2 | 100 |

## 【他に保護者対象の設問で高率で良好だったもの】

○学力向上　83.9%　　○進路情報発信　80.2　　○ホームページ、学年通信による情報発信　90.7
○学習の場としての環境　80.8　　○自立心の向上、会話内容や言葉遣い、ふるまいに成長　80.8

## 【保護者対象の設問から抽出して経年変化（良好回答）の分析事例】

Q6　一人一人の生徒を理解した適切な指導

**経年変化では、　H23（80.4%）　　H24（70.0）　　H25（71.3）となっており、2 年前比 9.1P 低下は課題と捉えられる。（※今回、教職員は 93.9 であり保護者と 22.6P の開きがある）**

Q9　進路について適切に情報発信　　80.2

今回、「情報発信」という語句を加筆して進路情報についてききとったところ、2 年前比 11.9P 上昇し成果があがっている。

Q13　防災意識　96.2

前年比 26.2P 著しく上昇

避難訓練の際に消防署員（消防車）を招聘し実施訓練等で内容が充実し、ホームページで発信し効果を上げた。

Q16　ホームページ、学年だより等、学校情報発信　90.7

3 年連続 90%超の状況である

## 【家庭での生活習慣（良好回答）についての設問（※学校と家庭が連携するため）】

Q21　お子さんは家庭で学習する習慣がある　65.8

全生徒単純比較で 4.8P 増加

経年変化　現 3 年生は、　昨年 2 年生時（62.1）　現在（65.7）

　　現 2 年生は、　昨年 1 年生時（63.9）　現在（64.5）

　　現 1 年生は、　（67.0）

※学年進級とともに微増しているが、もう少しの増加を期待したい。本校の学力向上に関する底上げは当設問の回答数値の上昇にかかっている

Q25　我が家では、時々学校のホームページをみている　　43.0

昨年比　8.3P の上昇で成果が上がっている

※全校生徒 543 人の保護者のうち概算で、233 人がアクセスしている効果は大きい。

学校で実践される授業内容・計画や特別授業（ゲストティーチャー招聘等）、受検（受験）情報など、あらゆる教育活動を事前に、また、リアルタイムにご覧いただくことに効果があるものと考えております。

水泳教室

【生徒対象の設問から抽出して経年変化（良好回答）の分析事例】

Q3　授業は、わかりやすく楽しい　　64.9　（※わかりやすい授業づくりに努めている教員は 96.9）
授業改善に直結した設問である。前年比と変化がなく、且つ教員との開きの大きさは課題である。

Q6　自分は、授業で積極的に発表しようとしている　　69.6
経年変化では、現３年生が　２年生時 54.5%が 67.0%　　12.5P 増加
現２年生が　１年生時 75.2%が 68.0%　　7.2P 低下
現１年生は　　73.4%
生徒の学習意欲について現３年生の取り組みに成果があがっている。

Q7　自分を大切にすること、他の人への思いやり（自尊感情）
１年 91.0　　２年 76.0　　３年 72.9
※今年の１年生は３年に比べ 18.1P、２年に比べ 15.0P 上回っている。昨年と比較しても高率である。
現１年生の傾向として、昨年の１年生比で「社会のルールを教えてもらった（規範意識）」5.5P 上回り、「他の人を思いやる（自尊感情）」同昨年比 11.3P 上回っている。１年生は、Q22「家庭で役立つ仕事をしている」の回答も 60.1 と他学年（２年 42.8　３年 51.2）に比べ高い、昨年の１年比でも 12.2P 上回っている。データからは大多数の生徒の心構えは安定しており、教えに応えていることが明らかとなった。

Q21　家庭で勉強する習慣がある　全体は　　54.0
経年変化では、　現３年生が２年生時 64.6　　現在 49.5 で 15.1P 低下
現２年生が１年生時 63.9　　現在 50.3 で 13.6P 低下
現１年生は　　61.7
※学年が進級するにつれて自己の学ぶ充実度について熟慮するようになり、勉強の厳しさを自覚しているものととらえられる。

社会研究授業

理科研究授業

数学研究授業

【市内の中学生所持率と比較し本校が約 20%以上低いことは、好ましい指標】

※一般的傾向として、安定した生活習慣となり家族間で豊かな会話をもつことや学力向上のために有効に過ごすことが期待できる。

Q28　子どもに携帯電話を持たしている　　42.8%

経年変化で　現２年生は 3.7P 増加の　33.1%

現３年生は 1.2P 増加の　54.4%（注）

現１年生は　　41.0%

※（注）携帯電話、スマートフォン所持を控えるように啓発しているのは、現２年生の入学時からです。ご家庭のご理解、ご協力があってのことで２年、３年生の所持率の顕著な増加はみられません。お礼申し上げます。

現在１年生は 41%ですが、ご家庭で特段の事情がないかぎり所持させることを見合わせていただきますようご協力願います。

子どもが携帯、スマホをいつでも自由に使用し、また、個室に持ち込み使用すると、毎日の生活習慣に好ましくない影響があることが明白となっています。本校でも関係機関専門家によりプライバシーに配意してメール等使用実態について考察しました。スマホのアプリであるライン等使用による問題事案が報道等で世間を賑わせていることに注目願います。我が子に限っては大丈夫という思いはいかがなものでしょうか。子どもの使用実態を把握されていない家庭が一定多数あることが現状なのです。

本校では、今後サイバー関連の専門家を招へいし少年たちを取り巻くネット関連のトラブル等事案について講演会を計画しておりますので、ぜひ、ご参加ください。

（参考：８月２日付神戸新聞）

神戸新聞　第41499号　2013年（平成25年）8月2日　金曜日

# ネット依存 中高生51万人

## 平日5時間超も 睡眠障害の恐れ

厚労省推

全国の中高生10万人近くが回答したインターネット使用実態に関する厚生労働省研究班の調査で、「病的な使用」と判定され、ネット依存が強く疑われる生徒が8・1%に上った。研究班は調査結果と中学、高校の全生徒数を基に、ネット依存の生徒を約51万8千人と推計している。（24面に関連記事）

厚労省で1日に記者会見した研究班代表の大井田隆・日大教授（公衆衛生学）によると、中高生のネット依存に関する全国調査は初めてという。

研究班メンバーで国立病院機構久里浜医療センター（神奈川県横須賀市）の樋口進院長は「ネット依存が強いと昼夜が逆転し睡眠障害などにつながる恐れがあり、精神面への悪影響も懸念される。適切な使い方に関する教育が必要で、相談・診療体制も速やかに整えるべきだ」と訴えた。

調査は昨年10月～今年3月に実施。47都道府県の中高生約14万人に学校を通じ調査票を配布、約9万8千人が回答した。

ネットを利用するときに使うのは多い順にパソコン、スマートフォン（多機能携帯電話）、携帯電話で、平日のネット使用の平均時間が5時間以上としたのは中学生9・0%、高校生14・4%。休日は中学生13・9%、高校生21・2%だった。

国際的な評価尺度に基づき①満足を得るため、ネットを使う時間をだんだん長くしていかねばならないと感じているか②使用時間を減らしたり完全にやめようとしたりしたが、うまくいかなかったことが度々あったか③ネットのために大切な人間関係などを危うくするようなことがあったか―など8項目の質問に該当するかしないか2択で答えてもらった。

5項目以上で該当し、「病的な使用」と判定されたのは7952人（8・1%）。男子6・4%、女子9・9%で、女子の割合が高かった。病的な使用が認められた中高生の23・2%が眠りに就きにくいと訴え、15・6%が夜中に目が覚めるとした。「午前中は調子が悪い」と答えた生徒は24%を占め、67・9%が気分の落ち込みを訴えた。

調査に回答した全生徒に「この30日間で利用したネットサービス」を尋ねたところ、複数回答で情報やニュースの検索が69・2%と最多だった。

### 中高生への質問

（5項目以上に該当する場合を「病的使用」と判定）

Q1　あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか？（例えば、前回にネットでしたことを考えたり、次回することを待ち望んでいたり、など）

Q2　満足を得るために、ネットを使う時間をだんだん長くしていかねばならないと感じていますか？

Q3　ネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことが度々ありましたか？

Q4　ネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとしたとき、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じますか？

Q5　使いはじめに意図したよりも長い時間オンラインの状態でいますか？

Q6　ネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、危うくするようなことがありましたか？

Q7　ネットへの熱中のしすぎを隠すために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか？

Q8　問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといった嫌な気持ちから逃げるために、ネットを使いますか？

首相

安倍晋三首相が8月15日の靖国神社参拝を見送る方向となった。政府、与党関係者が1日、明らかにした。東京裁判のA級戦犯が合祀された靖国

7 元CIA職員、ロシア一時亡命
9 パナソニック、加西工場など増強
15 連載「夢はかなう」西脇工初の甲子園
25 「ゲンバクは嫌だ」兄の思い語り継ぐ

社会
淡路の生シ
パスタで

くらし
夏休みの
体調管理

文化
永井一正
阪でポス

2013/08/02